



新年あけまして
おめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

今年も図書館で会いましょう。

いよいよ3学期が始まりました。受験、卒業式など、大切な節目の学期となりました。まだまだ、寒い日が続いています。体調管理には十分に気を付けてください。

★今年の干支(えと)はうさぎ(卯)。「うさぎ本」を集めてみました。
★お正月はどのようにして過ごしましたか?家でゆっくりとテレビや映画を見た人もいたかもしれませんね。今月は、今話題のテレビや映画に関連する本を紹介します。

「うさぎ本」特集

☆『ウォーターシップ・ダウンのウサギたち』上・下 リチャード アダムズ 著 評論社

1972年に書かれた上下二巻の児童文学。全編ウサギ目線で書かれています。ウサギの中にも上下関係があり、弱者・強者、縄張り争いなど、人間臭い内容が語られるのも面白いところです。うさぎ達の中の一羽に、予知能力を持っているものがいて、仲間たちの危機を救うために奔走するのですが、なかなか信じてもらえません。やっとのことで仲間を集めて新しい世界へと踏み出しますが、そこからが苦難の連続で、一歩外に出れば敵だらけ、彼らに安住の地はみつかるのだろうか!?!という内容です。ウサギたちの大冒険物語です。アニメ化もされたそうですが、Netflixでは完全CGアニメ化になっているそうです。映像と併せてどうぞ!!



☆『うさことば辞典』 森山 標子 絵 グラフィック社

ウサギ好きが書いた、うさぎにまつわる言葉を集めた本なのですが、ウサギ好きでもない私が読んで、ほっこりする本です。第1章の「うさ飼いさんのうさことば」に出てくる言葉は「うさぎ愛」にあふれています。「うたっち」「うさ吸い」「お月さまに帰る」はわたしの好きな言葉です。この辞典でぜひ調べてみてください。第2章は日本、第3章は世界のうさことばです。「烏^く兔^と忽^と忽^と (うとそうそう)」「鳶^と目^め兔^と耳^{みみ} (えんもくとじ)」「狡^と兔^と三窟^{さんくつ} (こうとさんくつ)」兔(うさぎ)がつく四字熟語です。意味がわかるものありますか?

☆『オオカミがいないと、なぜウサギが減びるのか』 山田 健 著 集英社



生物間の食物連鎖の関係性を描いた生態系ピラミッド。そのバランスが崩れたことにより鹿や害虫が増殖し、基礎となる土壌はぼろぼろ。多種多様な生物が溢れる環境と豊かな土壌は互いが互いを必要とする相互関係にあるのに、日本の生態系ピラミッドはいまや絶滅種で歯抜け状態だ。はたして、これからの日本で豊かな生態系を取り戻す方法はあるのだろうか。(集英社 HPより)

映画・ドラマ原作・関連本特集

☆『ねむれないほどおもしろい吾妻鏡』

坂野 博行 著 三笠書房



2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の世界を堪能できる本!! 『吾妻鏡』は北条氏による、北条氏のための歴史書なので、ちょっと客観性に欠ける部分もあるそうです。なので、この本は朝廷側の慈円によって書かれた『愚管抄』やその他の資料も参考にしながら、鎌倉幕府の権力闘争をわかりやすく説明してくれています。慈円が案内役として語っているのも、引き込まれるポイントです。『吾妻鏡』は2023年NHK大河ドラマ「どうする家康」の主人公徳川家康の「座右の書」であったことも、この本を“推し本”にする理由です。

☆『月の満ち欠け』 佐藤正午 著 岩波書店

第157回直木賞受賞作品が、大泉洋さん主演で映画化されました。

仕事も家庭も順調だった小山内堅の日常は、愛する妻・梢と娘・瑠璃のふたりを不慮の事故で同時に失くしたことで一変。深い悲しみに沈む小山内のもとに、三角哲彦と名乗る男が訪ねてくる。事故に遭った日、小山内の娘が面識のないはずの自分に会いに来ようとしていたこと、そして彼女は、かつて自分が愛した“瑠璃”という女子の生まれ変わりだったのでないかと告げる。それは、「生まれ変わっても、あなたに逢いたい」という強い願いが起こした、奇跡だった。(映画公式HPより)

<1月の館内特別展示>



I部

<3年生のみなさんへ>

3年生の図書返却は

1月24日(火)までに

それ以降の貸出は入試に必要な場合のみです。図書館の本が必要な人は、担任の先生の許可をもらい、担任の先生の名前で借りてください。その際、返却日は必ず守ってください。返却日を守れない人が多くて、毎年大変困っています。忘れずに返却してください。ご協力をお願いします。